



おもしろ科学体験塾で “わくわくドキドキ” ふしぎ発見！

たんけん通信

発行責任者：特定非営利活動法人おもしろ科学たんけん工房 〒235-0036 神奈川県横浜市磯子区中原4-1-30

藤沢・横浜などの30以上の会場で「おもしろ科学体験塾」を開催しています。

1月～3月に実施予定の体験塾の中から、今までとりあげていなかったテーマを紹介します。



持ち運べる“つかめる水”を 作ってみよう！

- 大きな問題になっているプラスチックごみについて、何が問題で、自分たちに何ができるか考えてみよう。
- 容器なしで水がはこべれば、ペットボトルがいらなくなり、プラごみが減るね。
- プルプルな「つかめる水」作りを体験してみよう。色づけ、人工イクラ、海洋プラごみ入りの「つかめる水」にも挑戦するよ。

3/22 は一と友 神奈川



つかめる水ができたかな？



透明なつかめる水



色付きのつかめる水



デンプンの取り出し

“じゃがいも”で デンプンを科学しよう！



- じゃがいもからデンプンを取り出してみよう。ヨウ素を使えばデンプンであることが確認できるよ。
- 取り出したデンプンからデンプンのりを作り、その性質を調べたり、ヨウ素を使ってデンプンを含む食べ物をさがす実験をします。
- 最後に、デンプンで作ったのりを使って絵をかくよ。

3/14 鵜沼中学校



デンプンの消化実験



デンプンのりでお絵かき



玉ねぎ染めに ちょうせん！

- いつもはすててしまう野菜の皮の中には、布を染めることができるものがあります。玉ねぎの茶色い皮もそのひとつです。
- 玉ねぎの皮を煮出して染色液を作り、ハンカチを自分のデザインで染めてみよう。
- 玉ねぎの染色液で染めたあとで“みょうばん液”につけると、きれいな色に変わるよ。

3/7 杉田小学校



染めの作業中



完成!!

「おもしろ科学体験塾」の日程表は、右のQRコードから「おもしろ科学たんけん工房」HPを開き⇒「おもしろ科学体験塾日程表」でご覧になれます。



北1地区

都筑交流フェスタ

体験塾の会場をお借りしている都筑地区センターからの依頼により、11月9日、都筑交流フェスタに参加しました。コンセプトとして、工作の楽しさを体験してほしいとの願いもあり、6アイテムの工作を実施しました。また、工房で作った工作物で楽しく遊んでもらいたいと思い、遊び広場を準備し、今回は6アイテムの工作物で遊んでもらいました。



工作風景



工作一覧



遊び広場

今回も低学年生が多かったですが、保護者と一緒に工作作りと、工作物で遊んでいただきました。

(石橋 義夫)

東地区

会場紹介

東地区は、会員数約80、体験塾会場は8カ所、体験塾は年に66回実施しています。

横浜市の南区、磯子区、金沢区、栄区、港南区（一部）と横須賀市をカバーしています。JR根岸線と京浜急行の沿線で、横浜市の東というより南です。根岸線は、1973年に大船まで全線開通。我々のエリアは、その沿線、根岸、磯子、杉田と巨大企業が立ち並び、洋光台、港南台、本郷台など新興大規模住宅地が開発され当時のサラリーマンたちのベッドタウンとなりました。京浜急行沿線も上大岡以南は、沿岸の大規模な埋立て地など企業団地や住宅団地が開発されました。おそらく東地区会員達もこれらの大規模開発地に勤め、住み、遊んだ人たちではないでしょうか？ 憧れの湘南、逗子や鎌倉、三浦海岸のビーチで、肌を真っ黒に焼いて粋がっていたボーイやギャルも多いのではないのでしょうか？ あれから数十年！その罪滅ぼしか、高邁な探求心からか、科学を子どもたちにと、日々奮闘しています。

この湘南と少し毛色が違うのがフォーラム南太田塾です。こちらは下町の雰囲気、男女共同参画にして多文化共生、国際色豊かでよく分からない言葉が飛び交い、いつも楽しい賑わいの体験塾です。

末筆ながら、当工房の初代代表の安田光一さんも、現代表の島田祥生さんも東地区の所属です。(田中 克己)

北2地区

しもひら子ども科学クラブ

この下平間こども文化センターは、「しもひら子ども科学クラブ」として、半年入れ替え制で前期に5回、後期に4回科学クラブを開催しており、今年で3年目になります。参加する子どもの数は4、5年生を中心に12名ですが、前期後期の最後の時にする「報告会」がとてもステキなのです。

この報告会では、半年の間に行ったさまざまなテーマのプレゼンテーションをして、学んだことを発表しています。参加した保護者や来館者も発表を見ることができ、堂々とした発表を聞いて感動して涙する方もおられます。

この9月に3回目の報告会があり、子どもたちはパワーポイントを操作しながら、グループで手分けして、全員参加で報告していきます。みごとでした。これならその報告を聞いていた子どもたちは、参加したくなるだろうなというできばえでした。この子ども科学クラブから科学の楽しさを知った子供たちや、学校からその後、体験塾にも多くの方が参加してくれています。

子ども文化センターのスタッフのみなさまの指導力もあり、毎回募集時は定員以上の応募があるそうです。



西地区

新会場：東汲沢小学校
コミュニティハウス



こちらの会場は、地下鉄踊場駅から徒歩15分の少し坂上がったところにあります。

館長さんがとても協力的で、昨年「DNAのひみつ」の講座ではセンス良くカラーチラシ全体の考案をしていただきました。

また戸塚中学校などにもチラシの配布を検討してくださいました。

一昨年は「ブーメラン」の講座を実施する際に、小学校の体育館もお借りして、のびのびと投げることができました。飛ばすテーマも可能となるので、これからのメイン会場として期待しています。

今後も工房の活動にご理解のある館長さんと共に、年に4回体験塾を実施してまいります。

よろしくお願いいたします。

